

議事要旨（令和7年度の要員配置にかかる職員の勤務労働条件について）

【大阪市職員労働組合平野区役所支部との団体交渉】

日 時 令和6年11月6日 水曜日 18時00分から18時9分

場 所 平野区役所応接室

出席者 所属： 松本総務課長、中濱総務課担当係長

組合： 村上支部長

（組合①）

それでは「2025年度要員確保」について申し入れを行う。

<2025年度要員確保に関する申し入れ>

申し入れについては以上である。

（所属①）

ただいま、令和7年度の業務執行体制について、必要な勤務労働条件の確保を図るように申し入れを受けたところである。

私どもとしても、複雑・多様化する行政ニーズに的確に対応するためにも、事務の簡素化による見直し・委託化等によって、真に必要な市民サービスの低下をきたさず、業務内容・業務量に見合った業務執行体制を構築しなければならないと考えている。

また、適切な時間外勤務の執行管理はもちろん、長時間にわたる時間外勤務は、職員の健康保持・増進に悪影響を及ぼすばかりでなく、ワーク・ライフ・バランスにも支障があることから、日常的に効率的な業務の進行管理に十分に努め、時間外勤務を必要最小限にとどめるよう、職員の時間外勤務の状況を踏まえながら、引き続き、縮減に向けた取組を全庁的に行ってまいりたい。

勤務労働条件に関する交渉にあたっては、交渉に関わる必要な資料を提供することは当然と考えており、地方公務員法や大阪市労使関係に関する条例の趣旨を踏まえながら、丁寧に対応してまいりたい。

そのうえで来年度の業務執行体制の確立に当たっては、事務事業の精査を加えながら、年度当初に必要な体制を確立していきたいと考えている。

繰り返しになるが、新たな行政ニーズに適切に対応するためには、これまで以上に、施策・事業の再構築等のとりくみとともに、業務内容・業務量に見合った業務執行体制を構築しなければならないと考えている。

については、事務事業の再構築にかかる施策の企画・立案とそれに対応する業務執行体制の改編などの管理運営事項については、職制が自らの判断と責任において行い、それに伴う職員の勤務労働条件の変更については、交渉事項として誠意をもって対応させていただきたいと考えているのでよろしくお願いいたします。

なお、申し入れ項目の取り扱いは要請どおりとしてまいりたい。

(組合②)

所属から、「真に必要な市民サービスの低下をきたさず、業務内容・業務量に見合った業務執行体制を構築しなければならない」「そのうえで来年度の業務執行体制の確立に当たっては、事務事業の精査を加えながら、年度当初に必要な体制を確立していきたい」との考え方が示された。定数配置について所属の責任ある対応を求めておきたい。

今後も含め勤務労働条件に変更がある場合は、その都度支部・所属間での協議を行っていくという考えが所属から示されたが、こちらとしても十分な交渉・協議が行われなければ問題解決がはかられないことは言うまでもないことから、誠意ある対応・協議を行うなど、所属としての責任を果たすよう強く要請し、「2025年度の要員確保」にかかる申し入れ交渉を終了する。